

美濃焼の“これから”を考えます

やきもの生産量日本一を誇る土岐市。時代の変化によって器の需要が減少傾向にある中で、業界の次代を担う後継者たちが集まり、知恵を出し合い、美濃焼の“これから”を考えるために生まれた「TOTTOKI(とっとき)事業」。このコーナーではTOTTOKI事業の活動内容や、作り手の熱い思いが込められた器などを紹介していきます。

TOTTOKI事業のメンバーの皆さん



今回は、土岐市で生産されたえりすぐりの器を、込められた思いと共に紹介します。

メンバーの皆さんに熱い思いを語ってもらいました。

Q 土岐市の美濃焼に今求められているものは？

A 大量生産という利点は残しつつ、製品のクオリティーも評価される商品を作らなくては。

Q TOTTOKI事業が目指すことは？

A 作り手も売り手も一致団結することで美濃焼のブランド力が上がるといいな。

市長の部屋から

4月8日(金)

「第9回現代茶陶展」の表彰式がセラトピア土岐で開催され、393点の応募の中から選ばれた皆さんに表彰状が授与されました。



展覧会の開催にあたり、たくさんの方にご出展をいただき、ありがとうございました。受賞されました皆さま、本当におめでとうございます。

今後も、全国各地からたくさんの素晴らしい作品が集う展覧会を目指し、市民の皆さまをはじめ、多くの方にご来場いただけますよう、引き続き取り組んでまいりたいと思います。



土岐市長 加藤靖也